

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 サンクリーン手袋 サンエース 内エンボスタイプ
会社名 株式会社 ホワイトマックス
所在地 〒573-0007 大阪府枚方市堂山1丁目1番25号
作成部門 製造部 品質・生産管理課
電話番号 072-848-3678
FAX 番号 072-848-3677

2. 危険有害性の要約

危険性 常温の取り扱いでは特に危険性はない。
健康有害性 人体に対する影響は知られていない。
ただし、燃焼分解により、CO、CO₂、炭化水素などの有害成分を発生することがある。
環境有害性 野外に漏出した場合、鳥等の動物が飲み込み窒息する可能性があるため、廃棄や漏出には注意を要す。
分類に関係ない他の有害性 常温の保管、通常の取り扱いを行えば、特に危険はない。
GHS 分類 分類基準に該当しない。
GHS ラベル要素 この製品は、GHS基準により有害性警告表示を必要としない。

3. 組成及び成分情報

化学物質名・混合物の成形品 ポリエチレン製手袋

区別	成分	含有率 (wt%)	官報公示 No.		CAS. NO.	適用法令
			化審法	安衛法		
一般名	エチレン・1ブテン共重合体	>99%	(6)-18		25087-34-7	
成分及び含有率						
(適用法令対象物質)						

4. 応急処置

吸入した場合	フィルム状につき該当しない。
皮膚に付着した場合	皮膚刺激、または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受ける。 加熱溶融状態の製品に触れた場合は、火傷に対する処置を行い、症状に応じて医師の診断を受ける。
眼に入った場合	手袋の角等で角膜を損傷する恐れがあるため、眼を強くこすらない。 出来るだけ早く医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	速やかに清水で口内を洗浄し吐き出す。 症状に応じて医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

周囲に火が無ければ燃焼しないが、着火源がある時は大気中で燃焼する。

消火方法	熱可塑性ポリマーは可燃性である。消火作業の際には、必ず保護具を着用する。加熱装置などを使用する際は、適切な距離を維持する。燃焼や分解により、刺激性や有害性の物質が放出される。溶融した大量のポリマーを長時間、高温に保つと、自然発火することがある。長期間保管はたは熱に曝露すると自己反応し、発熱して火災の原因になることがある。 初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却することが有効である。火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火剤	泡消火剤、炭酸ガス、水、砂
使ってはならない消火剤	特になし

6. 漏出時の措置

フィルム屑の場合、かき集めるか掃除機で集めて廃棄または焼却する。

人体に対する注意事項、 保護具及び 緊急時措置	特に注意することはないが、速やかに容器等に回収する。
環境に対する 注意事項	公共用水域や野外に漏出させない。
封じ込め及び浄化の方 法及び機材	溶融状態で漏出した際は、水等で冷却し、固化した後に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	破損につながる粗暴な取り扱いをしない。
保管	直射日光を避け、乾燥した冷暗所に保管する。 高温・多湿を避けること。火気及び熱源から遠ざける。 長期保管によりブロッキングを起こす場合もあるので、長期間の保管は避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度及び許容濃度

	ポリエチレン
管理濃度	設定されていない。
ACGIH (TWA)	設定されていない。
日本産業衛生学会 (TWA)	設定されていない。 (ただし、粉塵が発生する場合は、日本産業衛生学会の第3粉塵に対する勧告値を 基準に採用するのが望ましい。吸引性粉塵：2mg/m ³ 、総粉塵：8mg/m ³)
設備対策	周囲の引火物の取り扱いに注意する。作業場付近に洗眼・洗身の設備を設けることが 望ましい。
保護具	保護手袋、安全眼鏡、保護衣、安全帽、安全靴

9. 物理的及び化学的性質

外観	フィルム状固体
色	半透明
臭い	無臭
臭いの閾値	データなし
pH	データなし
融点・凝固点	融点：120～130℃ (フィルム物性として)
沸点・初留点及び 沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
蒸発速度	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び 爆発上限界	爆発下限界：データなし 爆発上限界：データなし
/可燃限界	可燃限界：データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
密度又は相対密度	0.90～0.94g/cm ³
溶解度	水：不溶 その他：データなし
n-オクタール /水分配係数	データなし
自然発火温度	350℃
分解温度	データなし
動粘性率	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	あり（消防法の指定可燃物）
化学的安定性	常温では安定。300℃以上の高温において分解し、炭化水素及びその酸化物（アルデヒド、酸、アルコール等）を生成する。
	水との反応性、自己反応性、爆発性はなし。
危険有害反応可能性	一酸化炭素、二酸化炭素、炭化水素、すす
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

製品としての有害性情報 製品としての有害性情報のデータはないが、エチレンホモポリマーとしては下記の有害性情報を通りである。

成分の有害性情報（GHS分類結果）-1

成分	急性毒性 経口	急性毒性 経皮	急性毒性 吸入:気体	急性毒性 吸入:蒸気	急性毒性 吸入:粉塵/ミスト	皮膚 腐食性 ・刺激性	眼に対する 重篤な損傷 ・眼刺激性
	mg/kg ラット:LD50	mg/kg	ppmv	mg/l	mg/l		
エチレン ホモポリマー	>3000 ラット:LD50	データなし	データなし	データなし	75.5 ラット:LC50(30min)	刺激することがある。	データなし

成分の有害性情報（GHS分類結果）-2

成分	呼吸器 感作性	皮膚 感作性	生殖細胞 変異原性	発がん性	生殖毒性 ・授乳影響	特定標的臓器 ・全身毒性		吸引性呼吸器 有害性
						単回暴露	反復暴露	
エチレン ホモポリマー	データなし	データなし	AMES 試験:陰性 異常試験: データなし	IARC:グループ 3	データなし	データなし	データなし	データなし

12. 環境影響情報

製品としての有害性情報 製品としての有害性情報のデータはない。

成分の環境有害性情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	環境において長期間分解しない
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

その他の有害影響 海洋生物や鳥類が摂取する事を防止するため海洋や水域での投棄・放出はしない。

13. 廃棄上の注意 「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に従って焼却又は埋立を行う。

地方自治体の規制がある場合は、それに従うこと。

14. 輸送上の注意

転倒、落下などの損傷のないよう積み込み、荷崩れを防止する。

国内規制がある場合の

特になし

規制情報

15. 適用法令

消防法

指定可燃物（合成樹脂類）

化学物質排出把握管理促進法

該当しない

労働安全衛生法（通知対象物）

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

その他

特になし

16. その他の情報

特になし

記載内容の取扱い

本データシートは、全ての資料や文献を調査したものではなく、原材料メーカーの資料等を基に作成しておりますので、情報の完全さを保証するものではありません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等を良く検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常的な取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いをする場合には新たな用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。